

石ころに語る母たち

和賀地区地域講座
終戦80年企画朗読劇

2025年8月6日(水) 10時
開場は開演の30分前



『毎日オラ、川原の石ころ拾ってきては 洗って拝んだもんだス』

小原徳志 編「石ころに語る母たち」、菊池敬一・大牟羅良 編「あの人は帰ってこなかった」今から 60 年前、県内で相次いで編纂された農村婦人の戦争体験の記録を朗読劇で上演

慣れない軍靴に豆ができ苦しんでいるであろう我が子を想い、誰ともなく川原の石ころを拾ってきては語りかけるようになった農村の母たち。昭和 36 年から 39 年にかけて旧和賀町（現在の北上市）で開かれた『農村婦人の戦争体験を語る集い』。涙の合間にポキン…ポキン…と言葉を折るようにして語られたのは、大切な息子を、愛する夫を戦争にとられ、石ころ一つ入った遺骨箱で帰ってきた虚しさや悲しみ。そして、大黒柱を失った戦争未亡人たちが過ごした戦後の塗炭の苦しみであった。

今から 60 年前に発行された聞き書き集に収められた物言わぬ農民の切実な叫びを未来に語り継ぐ。

脚本・演出 江 幡 平三郎
(IBC 岩手放送)

出 演 和 田 貴栄子
小野寺 斉 子
長谷川 拳 杜
(IBC 岩手放送)
久 保 綾 愛
(劇団赤い風)

入場料 無料 和賀地区以外の方も
ご入場いただけます

会場 和賀地区交流センター

お問合せ 0197-72-2215
(和賀交流センター)

主催:和賀地区自治協議会
協力:NPO法人いわてアートサポートセンター
後援:北上市・北上市教育委員会